



室蘭工業大学

学術資源アーカイブ

Muroran Institute of Technology Academic Resources Archive



## スーパーマーケットにおけるカーボンフットプリント公開の取組についての認知度調査

メタデータ	言語: jpn 出版者: 日本LCA学会 公開日: 2017-05-30 キーワード (Ja): カーボンフットプリント キーワード (En): CFP, Carbon footprint, CFP 作成者: 永野, 宏治, 趙, 培江, 鈴木, 昭徳, 横滝, 智也 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10258/00009202">http://hdl.handle.net/10258/00009202</a>



て CFP に取り組んできた。そこで、食品を仲立ちにして健康に関わる栄養成分と環境に関わる CFP を結びつけて、図 1 のように、CFP の表示と栄養成分の表示を、形を統一したデザインで並べて、包装に表示した。なお、CFP が栄養素の一つと誤解されないように、CFP は緑色あるいは赤色の地のデザインにし、栄養素は白地のデザインに統一した。

CFP を消費者に伝えるために、2014 年には図 2 のパンフレットを店頭と宅配で配布した。このパンフレットでは、130 品の CFP をまとめるとともに、CFP の紹介や製造過程における CO<sub>2</sub> 排出量の違い等を紹介した。

### 3 認知度のアンケート調査

本報告で述べた 130 品の CFP の公開に先立ち、2014 年 9 月にコープさっぽろが主催する組合員向け展示会で、CFP の認知状況を調べるアンケート調査を実施した。この展示会は札幌市スポーツ交流施設つどーむで行われた。さらに、CFP の公開の約 11 ヶ月後の 2015 年 8 月に、札幌の同じ展示会で同様のアンケート調査を実施した。また、2015 年 10 月に室蘭においても同様のアンケート調査を実施した。室蘭における調査は初めてである。

表 1 にアンケートの調査方法の概要をまとめる。また、表 2 にアンケートの質問とその回答結果をまとめる。本報告で述べた CFP の公開活動の前後で、質問 ①「CFP を知っていますか？」と質問 ③「CFP プログラム参加マークを見たことがありますか？」について「はい」と答えた人の割合には、変化は見られなかった。一方、質問 ②「コープさっぽろの CFP 独自マークを見たことがありますか？」については、マークを見たことがあると答えた人の割合が増加していた。これと同様の認知度は、室蘭においても見られた。

### 4 認知度の解析




札幌会場における公開取組前後のアンケート調査から、CFP の公開の取組の効果を  $\chi^2$  適合度検定により評価する。質問 ① でたずねた CFP 制度の認知度については、帰無仮説を「本取組は、CFP の認知度向上に効果がない。」とする。この場合、 $\chi^2$  適合度統計量は自由度 1 であり、 $\chi^2 = \frac{228 \times (68 \times 22 - 15 \times 123)^2}{83 \times 145 \times 191 \times 37} = 0.33$  である。実現値 0.33 は、自由度 1、5% 点の  $\chi^2$  分布  $\chi_{0.05}^2(1) = 3.84$  より小さいため、帰無仮説「本取組は、CFP の認知度向上に効果がない。」は有意水準 5% で棄却できなかつた。同様に質問 ③ のアンケート結果でも、本取組は、CFP プログラム参加マークの認知度向上に効果がない。」は有意水準 5% で棄却できなかつた。

質問 ② のアンケート結果では、帰無仮説を「本取

表 1 CFP の認知度調査の方法。質問によって回答数が異なる。

調査した日時	2014年9月27日(土) 10:00~16:00	2015年8月22日(土) 10:00~16:00	2015年10月31日(土) 10:00~15:00
調査を行った展示会	コープさっぽろ 第8回食べる・大切 フェスティバル 札幌会場 (札幌市スポーツ交流施設 コミュニティドーム つどーむ)	コープさっぽろ 第9回食べる・大切 フェスティバル 札幌会場 (札幌市スポーツ交流施設 コミュニティドーム つどーむ)	コープさっぽろ 第9回食べる・大切 フェスティバル 室蘭会場 (旧室蘭駅舎・旧室蘭駅舎公園ぼっばらん)
展示会来場者総数(人)	7094	8517	2145
アンケート調査方法	CFPの展示ブースへの来場者への聞き取り		
回答者の主な属性	主婦、小学生または幼児を連れた家族連れ		
回答者の年齢層	20歳~70歳		
回答者数(人)	70~83	141~154	64~66

表 2 CFP のアンケート結果

	2014年9月27日 札幌会場		2015年8月22日 札幌会場		2015年10月31日 室蘭会場	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①カーボンフットプリントを知っていましたか?	15人 (18%)	68人 (82%)	22人 (15%)	123人 (85%)	5人 (8%)	59人 (92%)
②  のマークを見たことがありますか?	3人 (4%)	72人 (96%)				
③  のマークを見たことがありますか?			46人 (30%)	108人 (70%)	13人 (20%)	53人 (80%)
④  のマークを見たことがありますか?	0人 (0%)	70人 (100%)	4人 (3%)	137人 (97%)	6人 (9%)	60人 (91%)

組は、コープさっぽろの CFP 独自マークの認知度向上に効果がない。」とする。 $\chi^2$  適合度統計量は  $\chi^2 = \frac{229 \times (72 \times 46 - 3 \times 108)^2}{75 \times 154 \times 180 \times 49} = 20.0$  である。この実現値 20.0 は、先に述べた有意水準 5% の 3.84 より大きいため、質問 ② についての帰無仮説は有意水準 5% で棄却できる。つまり、本取組は有意水準 5% でコープさっぽろの CFP 独自マークの認知度向上に効果があったと言える。

### 参考文献

- 1) 永野宏治, 吉田洋一, 小松均, 村上伸吾 (2013): 日本 LCA 学会誌, 9(4), 299-305
- 2) 永野宏治, 鈴木昭徳, 趙培江 (2015): 第 10 回日本 LCA 学会研究発表会講演要旨集, 198-199
- 3) 趙培江, 永野宏治, 鈴木昭徳, 佐藤和彦 (2016): 日本 LCA 学会誌, 12(1)(印刷中)